

◆医療・福祉マネジメント専攻 修士課程

□演習科目(基礎科目)

科目名	基礎演習	2単位
担当者	後藤澄江、末盛慶、横山由香里、篠田道子、中島民恵子、柳在相	
テーマ	論文の読解力や文章作成能力、プレゼンテーション能力など、高度専門職業人に求められる知識とスキルを身につける。	
科目のねらい	<キーワード> 文献検索、レビュー論文、研究計画書、文章作成能力、プレゼンテーション能力、多職種連携教育、ケースメソッド <内容の要約> 社会福祉領域、医療福祉サービス領域、医療・介護・福祉経営領域の3領域に共通し、かつ、研究者にも高度専門職業人にも求められる基礎的能力の開発を目的とする。 研究方法論についての統一導入講義で研究方法を、文献検索の演習やレビュー論文(多数の先行研究を集め批判的に検討を加える論文)の執筆準備過程で、情報を集め批判的に「読む力」を身につける。研究計画書の添削指導やレビュー論文の書き方についての統一導入講義を通じて「書く力」を鍛える。また、ケースメソッド演習で、多様な立場、異なる背景を持つ院生が参加する討論を体験する。そこにおける Inter Professional Education(専門職種連携教育)を通じ、多職種で構成される医療福祉現場における集団運営に必要な、相互理解の視点や「プレゼンテーション能力」「コミュニケーション能力」を鍛えることを目的とする。 「研究方法の学習と論文を書くこと」と「ケースメソッド演習」の両方を経験することで、年度末に、2年次のコースを、「特別研究(修士論文)」と「実践研究(ケースメソッド演習+特別課題報告3本)」のどちらにするか、選択の判断材料を提供することも目的とする。 <学習目標> ・先行研究や事例を幅広く収集し、課題を発見・設定し、事実や根拠に基づいて、自ら設定した課題の妥当性を説明できる。 ・事実や根拠を提示しつつ、求められた形式に沿って論理的に文章をまとめることができる。 ・多職種連携教育の知識・価値・スキルを理解できる。	
授業の進め方	上記の目標を果たすため、3領域合同の統一講義・演習と少人数の領域別演習とを組み合わせ進める。 研究方法や論文の書き方に関する統一導入講義や文献検索の演習などは、3領域合同で行う。研究計画書の添削は、3領域別に進める。ケースメソッド演習では、全体でのオリエンテーションの後、小グループで討論を行い、その後に全体討論を行う。基礎演習は、年間スケジュール(別紙参照)に示した金曜日に配置する。	
事前学習の内容 学習上の注意	ケースメソッド演習では、事前に配布したケース教材を読み、課題シートに自分の考えをまとめ、グループ討議や全体討議で発言できるように準備しておくこと。 研究計画書の添削を2回実施する。あらかじめ指定された日までに研究計画書を作成しておくこと。	
本科目の 関連科目	研究基礎	
成績評価 方法と基準	提出された研究計画書における先行研究レビュー(50%)、ケースメソッド演習(50%):1回ごとの課題シートの提出と討論への参加状況によって総合的な評価を行い、全体で60%以上を合格とする。	